

尾花沢市統合小学校建設工事設計業務公募型プロポーザル提出書類作成要領

1. 基本事項

この要領は、尾花沢市統合小学校建設工事設計業務公募型プロポーザル実施要領に基づき、提出を求める書類の作成について必要な事項を定めるものである。なお、具体的な設計図書の作成については、委託契約締結後に技術提案書に記載された業務実施方針等を反映しつつ、本市との協議に基づいて行うものとする。

2. 提出書類

本プロポーザルに参加の意思がある者は、参加手続きに必要な書類を提出すること。

(1) 提出書類

① 参加表明書

ア) 参加表明書（様式 1）

イ) 設計事務所の体制（様式 2）

ウ) 設計事務所の業務実績（様式 3）

エ) 誓約書（様式 4）

オ) 一級建築士事務所登録通知書の写し

カ) 様式 3 に記載する実績を証する契約書（鑑）及び当該施設の概要を確認できる資料の写し

② 技術提案書

ア) 技術提案書（様式 5）

イ) 管理技術者の業務実績等（様式 6）

ウ) 主任技術者の業務実績等（様式 7）

エ) 協力事務所の内容等（様式 8）

オ) 様式 6、7 に記載する実績を証する契約書（鑑）及び当該施設の概要を確認できる資料の写し

カ) 様式 6、7 に記載する者の資格証の写し

キ) 様式 6、7 に記載する者の雇用保険又は社員証の写し

ク) 業務実施方針（様式 9）※ A 3 版

ケ) 特定課題についての提案（様式 10）※ A 3 版（各 1 案）

3. 作成上の留意事項

(1) 提出部数 正本1部 副本14部

- ・参加表明書の提出書類については、正本1部のみとする。
- ・技術提案書の提出書類については、様式5及び様式8のみ正本1部に添付し、副本14部を作成し提出すること。
- ・副本については、提出者（協力事務所を含む。）を特定することができる内容（社名、代表者名）を記載しないこと。また、複写可とする。
- ・記載事項の確認資料（1）提出書類①オ）、カ）②オ）～キ）については各1部とし、正本に添付すること。

(2) 書式及び綴り方

- ・様式番号順に組綴りし、左上に仮止め（クリップ等）すること。
- ・用紙の大きさは、「日本工業規格A4及びA3版」とし、全面片面使用とする。また、A3版については、片袖折のA4サイズとすること。
- ・文字の大きさは10.5ポイント以上とすること。
- ・使用する言語、通貨及び単位は、日本語、日本国通貨、日本の標準時及び計量法（平成4年法律第51号）に定める単位とすること。

4. 各様式の記載方法

(1) 参加表明書（様式1）

代表者印を押印の上、提出すること。

(2) 設計事務所の体制（様式2）

- ① 当該事務所の技術職員数、有資格者数を記載すること。
- ② 有資格者は、一級建築士、構造設計一級建築士、設備設計一級建築士を対象とし、これ以外の資格についてはその他に記載すること。また、複数の資格を有する者については、いずれか一つの資格保有者として記載すること。

(3) 設計事務所の業務実績（様式3）

- ① 当該事務所の同種業務の実績3件を記載すること。
同種業務とは、平成25年4月以降に延べ床面積3,000㎡以上の学校教育法に規定する学校施設の設計実績とする。
- ② 特別豪雪地帯での実績がある場合は、その他地域での実績より優先して記載すること。なお、同種業務の実績が合せて3件に満たない場合は、実績分のみ

を記載し、後は空欄とすること。

※ 特別豪雪地帯の指定地域は、「全国積雪寒冷地帯振興協議会」ホームページ内の「豪雪地帯指定図」を参照してください。

③ 記載した業務実績については、契約書（鑑）の写し及び当該施設の概要が確認できる資料を添付すること。

④ 該当する業務実績については、次の項目を記載すること。

ア）受注形態の欄には、単独、設計共同体（JV）又は協力（協力事務所として参画）の別を記載すること。

イ）協力の場合は、発注者の欄に発注者名を記載するとともに、元請事務所名について括弧書きで記載すること。

ウ）構造・階数・面積の欄には、「構造種別－地上階数/地下階数、延床面積」を記載すること。また、構造種別については、RC造/SRC造/S造とし、耐震/免震/制震の別については括弧書きで記載すること。

記載例：（構造）RC（耐震構造）、（地上階数）4階（地下階数）1階
（延床面積）3,000㎡

（４）誓約書（様式４）

代表者印を押印の上、提出すること。

（５）技術提案書（様式５）

代表者印を押印の上、提出すること。

（６）管理技術者、主任技術者の業務実績等（様式６、７）

① 本業務を担当する管理技術者及び担当主任技術者の同種業務の実績３件を記載すること。

同種業務とは、平成２５年４月以降に延べ床面積３,０００㎡以上の学校教育法に規定する学校施設の設計実績とする。

② 記載した各技術者については、その者の資格証の写しを添付すること。また、当該事務所との雇用関係を証する雇用保険又は社員証の写しを添付すること。

③ 業務実績の立場の欄には、分担業務分野及び立場（管理技術者、主任技術者、担当技術者、又はこれらに準ずる立場）を記載すること。

（７）協力事務所の内容等（様式８）

協力事務所がある場合は提出すること。分担業務分野には、構造、電気設備、機械設備の各分担業務分野を記載し、協力事務所の所在地、会社名、代表者名、協力

を受ける内容及び理由を記載すること。

(8) 業務実施方針（様式9）

業務の実施方針は、業務への取組体制、設計過程における教職員・学校関係者からの意見聴取及び情報提供等の考え方、設計上特に重視すべき事項（提案を求めている課題を除く。）などを簡潔に記載すること。

(9) 特定課題についての提案（様式10）

技術提案の特定課題は次のとおりとする。提案にあたっては、「尾花沢市小中学校建設基本構想・小学校建設基本計画」を十分理解した上で、各1案を簡潔に提案すること。

また、提案に際し、文章を補完するために必要な視覚的表現については最小限の範囲において認めるが、具体的な設計又はこれに類するものに基づいた表現は認めない。

【特定課題】

課題1 基本構想における具体的な学校施設整備の方向性に示す、柔軟で創造的な学習空間、健やかな生活空間、連携・協働空間、安全・安心な教育環境、持続可能な教育環境を実現するための具体的な方策

課題2 少子化による教室数の減少に対する柔軟性と活用策

課題3 建築物の長寿命化とライフサイクルコストの低減策

課題4 学び舎の思い出となる尾花沢市らしさの取り入れ方

課題5 将来の小中連携を見据えた配置計画の考え方